写

令和８年１０月吉日

農業分野における女性の労働構造に関するアンケート調査について

（ご協力のお願い）

本調査は、農林水産省「令和７年度補正 雇用就農緊急対策のうち女性の就農環境改善・活躍推進事業」の一環として、株式会社農協観光（女性の農業活躍推進事務局）が実施する、農業経営体向けのアンケート調査です。農業分野における女性の就業実態や職場環境の整備状況等を明らかにし、女性が働きやすい農業現場づくりに向けた施策の検討や、他の経営体の皆様が参考にできる先進的な取組事例の紹介等に活用いたします。

下記ＱＲコードからのＷＥＢアンケート、もしくは次ページからの筆記による調査回答へのご協力のほど、お願い申し上げます。女性従業員の雇用の有無にかかわらず、すべての農業経営体の皆様にご回答いただけます。（所要時間：10～15 分程度　／　回答期限：令和８年 11 月 13 日（金））

なお、ご回答いただいた方の中から、抽選で５名様に「クオカード（１万円分）」を進呈いたします。特典のご応募には、アンケート最後の「お名前・お電話番号・ご住所」のご記入（ご入力）が必要です。当選された方には、ご記入いただいたご住所宛に、令和９年２月頃を目途に発送いたします（当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます）。特典の対象は、１経営体につき１回のご回答とさせていただきます。

筆記でご回答の場合は、ご記入済みの用紙を、下記お問い合わせ先の住所へご返送ください。

【個人情報の取扱いについて】

・ご回答は任意です。答えにくい設問は、未回答でも差し支えありません。
・ご回答いただいた内容は統計的に処理し、本調査の目的（施策検討・優良事例の紹介等）以外には使用いたしません。
・経営体名や個人が特定される形での公表は、事前にご承諾をいただいた場合を除き行いません。
・ご提供いただいた個人情報（お名前・ご住所・お電話番号等）は、特典の発送、および本調査における追加のヒアリングをお願いする場合のご連絡以外の目的には使用いたしません。

▲ＷＥＢアンケートはこちらから（スマートフォン・パソコン対応）

（アンケート URL：https://forms.gle/yC5ABrWLjufx5d5U6）

≪本調査に関するお問い合わせ先／ご返送先≫

株式会社農協観光　地域共創事業部　地域共創推進課

（女性の農業活躍推進事務局）

〒143-0006　東京都大田区平和島 6-1-1

電話：03-6436-8990

Ｅメール：ntour.agriwomen@ntour.co.jp

【農業分野における女性の労働構造に関するアンケート調査（経営体向け）】

＊印は必須の質問です。当てはまる□にチェック（✓）をつけてご回答ください。

1．貴組織の主たる作目（販売金額が第１位の部門）を１つお選びください。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

□稲作（水稲）
□麦・大豆等（土地利用型）
□野菜（施設栽培・露地栽培含む全般）
□果樹
□花き・特産作物
□酪農
□肉用牛
□養豚・養鶏
□その他（有機農業、6 次産業化・加工・直売を主体とする多角化経営等）

2．経営形態をお選びください。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

□株式会社（特例有限会社含む）　□農事組合法人
□合同会社・その他の法人　□個人経営体（家族経営かつ常雇い雇用型）

（※）常雇いとは：年間 7 か月以上の契約で主に農業形態のために雇った人（期間を定めずに雇った人を含む）を指す。

3．事業を開始した年をご記入ください。 ＊

（　　年）

4．（経営形態で「株式会社」「農事組合法人」「合同会社・その他の法人」を選んだ方）法人化した年をご記入ください。

（　　年）

5．所在地（都道府県）をご記入ください。 ＊

（　　）

6．経営耕地の地域特性は、次のどれに最もあてはまりますか。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

□都市的地域（市街地が多く、農地割合が低い）　□平地農業地域（平坦な農地が多く、大規模経営しやすい）
□中間農業地域（平地と中山間地が混在する）　□山間農業地域（林野率が高く、傾斜地が多い）

7．直近事業年度の総売上高（年商）についてお答えください。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

□500 万円未満　□500 万円以上～1,000 万円未満
□1,000 万円以上～3,000 万円未満　□3,000 万円以上～5,000 万円未満
□5,000 万円以上～1 億円未満　□1 億円以上～3 億円未満
□3 億円～10 億円未満　□10 億円以上
□無回答

８．現在の総従事者数をご記入ください。 ＊

経営主：男性（　　）名／女性（　　）名

役員（経営主を除く）：男性（　　）名／女性（　　）名

正社員（雇用契約）：男性（　　）名／女性（　　）名

非正規雇用（パート・アルバイト等、年７か月以上の常勤含む）：男性（　　）名／女性（　　）名

外国人材（技能実習・特定技能等、上記と重複しない実数）：男性（　　）名／女性（　　）名

９．貴組織における経営理念や経営方針、経営計画（※）などの検討・策定・決定の状況についてお答えください。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

（※）経営計画は以下を参照

(1) 生産品目や飼養する畜種の選定・規模　(2) 出荷先　(3) 資金調達　(4) 機械・施設などへの投資

(5) 農地借入　(6) 農作業受託（請負）　(7) 雇用及びその管理

□女性役員（または経営主、共同経営者）が直接関与している

□役員ではないが、管理職（現場チーフ等）の女性従業員が実質的に関与している

□現時点では、経営方針への女性の関与はない

■　女性従業員の雇用状況と役職登用

１０．貴組織は現在、女性従業員（役員・経営主親族を除く、外部からの雇用契約者）を雇用していますか。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

【正社員】について

□現在、雇用している

□過去 3 年以内（令和 5～7 年）に雇用実績があったが、現在はいない

□過去 3 年より前に雇用実績があったが、現在はいない

□雇用したことがない

１１．貴組織は現在、女性の従業員（役員・経営主親族を除く、外部からの雇用契約者）を雇用していますか。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

【非正規社員（パート・アルバイト等）】について

□現在、雇用している

□過去 3 年以内（令和 5～7 年）に雇用実績があったが、現在はいない

□過去 3 年より前に雇用実績があったが、現在はいない

□雇用したことがない

１２．前 2 つの質問（問 10・問 11）で、女性の「正社員」「非正規社員」ともに「雇用したことがない」と回答された方は、「はい」を選択してください。

（1 つだけチェックしてください）

□はい　（→　問３６へお進みください）

１３．過去 3 年間（令和 5～7 年）の女性従業員数（各年度末時点）の推移を、ご記入ください。 ＊

【正社員】令和 5 年度末（　　）名／令和 6 年度末（　　）名／令和 7 年度末（　　）名

１４．過去３年間（令和 5～7 年）の女性非正規社員数（各年度末時点）の推移をご記入ください。 ＊

【非正規社員】令和 5 年度末（　　）名／令和 6 年度末（　　）名／令和 7 年度末（　　）名

１５．貴組織における女性正社員の「平均勤続年数」の目安についてお答えください。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

□1 年未満　□1～3 年未満　□3～5 年未満　□5～10 年未満
□10 年以上　□把握していない

１６．貴組織における女性非正規社員の「平均勤続年数」の目安についてお答えください。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

□1 年未満　□1～3 年未満　□3～5 年未満　□5～10 年未満
□10 年以上　□把握していない

１７．女性正社員を雇用する理由として当てはまるものをお答えください。 ＊

（当てはまるものをすべてチェックしてください）

□安定的な労働力確保による経営の安定化
□作業内容（調整・選別・出荷・加工・顧客対応・販売促進等）への適性
□女性の視点やアイデアを経営に取り入れるため
□職場の雰囲気やコミュニケーション向上
□男女共同参画・ダイバーシティ推進
□将来的な管理職・経営人材の育成
□地域の女性の就業創出・発展
□女性の応募が多いため
□性別によらず能力・適性を重視した結果
□その他（　　）

１８．女性非正規社員を雇用する理由として当てはまるものを全てお答えください。 ＊

（当てはまるものをすべてチェックしてください）

□繁忙期や収穫期の労働力を確保　□必要な時期・時間帯に柔軟に人員確保
□作業内容への適性　□地域の女性の就業機会創出
□女性の応募が多いため　□子育てや介護等と両立しやすい働き方の提供
□職場の雰囲気やコミュニケーション向上　□男女共同参画・ダイバーシティ推進
□性別によらず能力・適性を重視した結果　□正社員採用の前段階としての人材確保
□女性側のニーズ（短期間就労等）への対応　□その他（　　）

１９．過去３年間で女性従業員（正社員・非正規いずれか）が退職（離職）した経験はありますか。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

□ある　□ない　□把握していない

２０．（「ある」を選んだ方）離職に繋がった主な要因として、経営体側で把握しているものを最大３つまでお選びください。

（当てはまるものをすべてチェックしてください）

□結婚・出産・育児などの被雇用者のライフイベント
□家族の介護、転居など被雇用者の家庭環境の変化
□体力的な負担（重量物運搬、猛暑下の屋外作業等）
□早朝・夜間・不規則な勤務体制への不適応
□給与水準・待遇面への不満
□評価基準の不透明さ、キャリアアップの見込みが持てないことによる離職
□人間関係・組織風土（親族中心の文化等）への不適応
□職場のインフラ環境（女性用トイレや更衣室等の不足）
□分からない
□その他（　　）

２１．外部から採用した女性従業員の「主な採用経路」をお答えください。 ＊

（当てはまるものをすべてチェックしてください）

□ハローワーク
□一般の求人サイト・求人誌
□農業専門求人サイト
□人材紹介会社（転職エージェント）
□自社 WEB サイト・SNS 発信
□イベント・就職フェア
□地域おこし協力隊・インターンシップ等からの移行
□学校（農業高校・農業大学校・大学農学部等）からの紹介
□農業法人協会・JA、新規就農相談センター等の公的紹介
□パート・アルバイト等からの正社員登用（内部昇格）
□知人・他産業からの紹介（中途採用）
□家族・親族
□その他（　　）

２２．女性の役員・管理職（現場責任者・チーフ含む）等への登用状況をお答えください。 ＊

女性役員（経営方針決定に関与する者）：現在（　　）名／令和５年度末（　　）名

女性管理職・現場責任者（リーダー職）：現在（　　）名／令和５年度末（　　）名

正社員以外で管理業務に従事している女性従業員（作業指示・シフト管理等）：
現在（　　）名／令和５年度末（　　）名

２３．女性従業員と男性従業員の「基本給・諸手当等の待遇水準」について、実態に近いものをお選びください。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

□同一の職種・経験年数であれば、完全に同等の水準である
□同一の職種であっても、女性の方がやや低い水準に留まっている
□職種・役職・配属部門がそもそも異なるため、単純比較できない
□分からない

２４．女性従業員が従事する業務について、身体的負荷及び時間管理の状況をお答えください。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

①重量物運搬作業の頻度：

□頻繁にある　　□ときどきある　　□ほとんどない

２５．②早朝・夜間業務の有無：＊

（1つだけチェックしてください）

□ある　　□ない

２６．③危険を伴う作業（高所・機械操作等）の有無：＊

（1つだけチェックしてください）

□ある　　□ない

２７．④繁忙期における時間外労働の状況：＊

（1つだけチェックしてください）

□月45時間以上　　□月20～45時間未満　　□月20時間未満

□ほとんどない

２８．⑤休日取得状況：＊

（1つだけチェックしてください）

□ほぼ計画通り取得できている　　□繁忙期はやや取得しづらい

□取得しづらい

２９．⑥天候急変等、突発的な作業の発生頻度：＊

（1つだけチェックしてください）

□頻繁にある　　□ときどきある　　□ほとんどない

■　就業環境（ハード面：補助事業との連動検証）

３０．貴組織における以下の設備について、女性従業員向けの整備・利用状況をお答えください。＊

（1つだけチェックしてください）

①女性専用トイレ

□専用設備あり（清潔・十分）　　□専用設備はあるが不満・改善要望あり

□男女共用のみ（専用なし）　　□施設自体がない

□現在、導入を検討中　　□導入は検討していない

３１．②女性専用の更衣室・休憩室＊

（1つだけチェックしてください）

□専用設備あり（清潔・十分）　　□専用設備はあるが不満・改善要望あり

□男女共用のみ（専用なし）　　□施設自体がない

□現在、導入を検討中　　□導入は検討していない

３２．③シャワー室・衛生設備＊

（1つだけチェックしてください）

□専用設備あり（清潔・十分）　　□専用設備はあるが不満・改善要望あり

□男女共用のみ（専用なし）　　□施設自体がない

□現在、導入を検討中　　□導入は検討していない

３３．④企業内託児・子連れワークスペース＊

（1つだけチェックしてください）

□専用設備あり（清潔・十分）　　□専用設備はあるが不満・改善要望あり

□男女共用のみ（専用なし）　　□施設自体がない

□現在、導入を検討中　　□導入は検討していない

３４．（問 30〜33 のいずれかで「専用設備あり」または「専用設備はあるが不満・改善要望あり」を選んだ方）ハード面の整備・改善を行った（試みた）主な要因を最大２つまでお選びください。

（当てはまるものをすべてチェックしてください）

□女性従業員（正社員・非正規問わず）の新規採用・増員計画（または応募増）のため
□女性従業員からの直接の改善要望
□補助金・助成金の活用機会があったため
□経営者・幹部の経営方針として
□実需者・バイヤーからの要請や認証制度（GAP 等）の基準対応
□作業効率の向上
□労働安全及び衛生対策（労働災害の防止、衛生管理、感染症対策）
□その他（　　）

３５．トイレや更衣室等のハード面を整備（または導入検討）するに際し、制約・障壁となった課題は何ですか。 ＊

（当てはまるものをすべてチェックしてください）

□整備費用（初期投資額）の確保
□設置スペース（建築確認・地目等の制約含む）の確保
□社内（既存男性従業員・役員・親族等）の理解・合意形成
□補助金制度・施工業者に関する情報不足
□維持管理の手間
□季節性及び農業特有の事情（農繁期は工事できない／検討時間が取れない、圃場ごとに施設が必要な場合がある、収穫時期により利用状況が変動する等）
□特に課題はなかった・ない
□その他（　　）

■　就業環境（ソフト面：労務管理・キャリアパス）

３６．貴組織では、一般事業主行動計画（女性活躍推進法または次世代育成支援対策推進法に基づく）を策定していますか。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

（※）一般事業主行動計画とは：従業員が仕事と家庭生活を両立できる職場づくりや、働きやすい職場環境づくりのために、会社が目標や取組内容を定めた計画のこと

□すでに策定し、労働局等へ届け出ている
□策定していないが、現在準備・検討中である
□策定していない（必要性を感じていない、義務化対象外等）
□制度自体をよく知らなかった

３７．①産前産後休暇・育児休業について、「明文化の有無」と「過去３年間の実際の利用実績（女性従業員）」をお答えください（雇用形態を問わず、対象となる制度についてお答えください）。 ＊

（1 つだけチェックしてください）

□規則等にあり・利用実績もある
□規則等にはあるが過去 3 年利用実績はない
□規則等にはないが口頭・慣例で柔軟に対応
□制度・対応ともに「なし」

３８．②育児・介護短時間勤務等の制度について、「明文化の有無」と「過去３年間の実際の利用実績（女性従業員）」をお答えください（雇用形態を問わず、対象となる制度についてお答えください）。＊

（1つだけチェックしてください）

□規則等にあり・利用実績もある　　□規則等にはあるが過去3年利用実績はない

□規則等にはないが口頭・慣例で柔軟に対応　　□制度・対応ともに「なし」

３９．③看護・介護休暇について、「明文化の有無」と「過去３年間の実際の利用実績（女性従業員）」をお答えください（雇用形態を問わず、対象となる制度についてお答えください）。＊

（1つだけチェックしてください）

□規則等にあり・利用実績もある　　□規則等にはあるが過去3年利用実績はない

□規則等にはないが口頭・慣例で柔軟に対応　　□制度・対応ともに「なし」

４０．④生理休暇について、「明文化の有無」と「過去３年間の実際の利用実績（女性従業員）」をお答えください（雇用形態を問わず、対象となる制度についてお答えください）。＊

（1つだけチェックしてください）

□規則等にあり・利用実績もある　　□規則等にはあるが過去3年利用実績はない

□規則等にはないが口頭・慣例で柔軟に対応　　□制度・対応ともに「なし」

４１．⑤変形労働時間制について、「明文化の有無」と「過去３年間の実際の利用実績（女性従業員）」をお答えください（雇用形態を問わず、対象となる制度についてお答えください）。＊

（1つだけチェックしてください）

□規則等にあり・利用実績もある　　□規則等にはあるが過去3年利用実績はない

□規則等にはないが口頭・慣例で柔軟に対応　　□制度・対応ともに「なし」

４２．⑥割増賃金の制度について、「明文化の有無」と「過去３年間の実際の利用実績（女性従業員）」をお答えください（雇用形態を問わず、対象となる制度についてお答えください）。＊

（1つだけチェックしてください）

□規則等にあり・利用実績もある　　□規則等にはあるが過去3年利用実績はない

□規則等にはないが口頭・慣例で柔軟に対応　　□制度・対応ともに「なし」

４３．⑦退職金制度について、「明文化の有無」と「過去３年間の実際の利用実績（女性従業員）」をお答えください（雇用形態を問わず、対象となる制度についてお答えください）。＊

（1つだけチェックしてください）

□規則等にあり・利用実績もある　　□規則等にはあるが過去3年利用実績はない

□規則等にはないが口頭・慣例で柔軟に対応　　□制度・対応ともに「なし」

４４．⑧人事評価制度（性別によらない公正な評価基準の明文化・運用）について、「明文化の有無」と「過去３年間の実際の利用実績（女性従業員）」をお答えください（雇用形態を問わず、対象となる制度についてお答えください）。＊

（1つだけチェックしてください）

□規則等にあり・利用実績もある　　□規則等にはあるが過去3年利用実績はない

□規則等にはないが口頭・慣例で柔軟に対応　　□制度・対応ともに「なし」

４５．農業法人白書等の分析では、「人材の育成」が野菜・果樹分野を中心に法人経営の最大の経営課題の一つとなっています（野菜は『人材の育成』『資材コスト』が同率 55.2%で１位、果樹は『人材の育成』が 57.3%で１位）。貴組織が女性従業員の「育成・定着」のために実際に実施している取組をお選びください。 ＊

（当てはまるものをすべてチェックしてください）

□業務内容・職務基準の明示（職務記述書＝ジョブディスクリプション等）
□定期的な面談・フィードバック
□外部研修・セミナーへの参加支援
□資格取得支援（大型免許・農業資格等）
□権限委譲（現場リーダー等への早期登用）
□ハード面における働きやすい職場環境の整備（女性専用トイレ・更衣室、作業負担軽減となる機械の導入等）
□ソフト面における働きやすい職場環境の整備（育児・介護と両立できる勤務制度、休暇取得しやすい環境、性別によらない職務配置・評価制度、熱中症対策等）
□女性従業員の正社員化
□特に明確な育成施策は実施していない（OJT 中心）
□その他（　　）

４６．作目の特性や地域の環境を踏まえ、女性従業員の「定着（継続雇用）」において、現在どのような点が構造的な障壁になっていると感じますか。 ＊

（当てはまるものをすべてチェックしてください）

□体力的な負担が大きい業務
□ライフイベントと農業現場（天候優先）との両立の難しさ
□早朝・夜間・不規則な勤務シフト
□繁閑差に伴う労働時間の調整の難しさ
□住居確保・通勤の制約（中山間地域等）
□他産業と比較した給与・処遇水準
□農業・地域社会の固定観念・家族経営的風土
□キャリアパスを示しにくい点
□職場インフラ環境の未整備（女性用トイレや更衣室等の不足）
□特に障壁・課題は感じていない
□その他（　　）

■　経営への波及効果・事例協力

４７．女性従業員の定着や活躍が、貴組織の「経営全体」にどのような好影響・効果を与えていると感じますか。 ＊

（当てはまるものをすべてチェックしてください）

□生産性の向上・売上高の拡大
□農産物の品質向上・歩留まり改善
□6 次産業化（加工・直売等）や新規事業の創出
□職場環境・コミュニケーションの改善、離職率の低下
□採用力の向上（男性・若手含む応募増）
□特に目立った効果・影響は感じていない
□その他（　　）

４８．女性従業員の確保・定着に向けた取組で、他の経営体に共有できるような工夫があればお書きください。

例：「子育てと両立しやすい勤務体系（時短勤務や中抜け勤務の導入、学校行事や急な子供の体調不良への対応ルールの明文化）」など

４９．（全員回答）本調査結果の取りまとめに際し、貴組織の取組内容について、より詳しいヒアリング（B票・C票に基づく先進事例としてのご紹介）にご協力いただけますでしょうか。 ＊

（1つだけチェックしてください）

□協力できる（優良事例集等への掲載に前向き）　□条件（無記名、内容の事前確認等）によっては協力できる

□協力は難しい

■ 多様な人材の活躍・最新の農業政策トレンドとの連動

５０．（女性従業員を雇用したことがない経営体も含む、全員回答）貴組織では、先端技術（スマート農業：自動操舵システム、営農管理システム、農薬散布ドローン等）の導入が、女性の労働構造や定着にどのような影響を与えていると感じますか。 ＊

（当てはまるものをすべてチェックしてください）

※女性従業員が未雇用の場合は、与えると考えられるものをお答えください。

□軽労化効果：自動操舵トラクタ等の導入で身体的負荷が軽減し、女性が担当できる作業が増えた

□早期戦力化効果：営農管理システム等で技術承継・指導がスムーズになった

□導入しているが女性の定着・職域拡大への直接的な変化はみられない

□スマート農業技術は導入していないが、導入を検討している

□スマート農業技術の導入を検討していない

５１．貴組織における以下の「社会的・環境的取組」の実施状況について、該当するものをすべてお選びください。 ＊

（当てはまるものをすべてチェックしてください）

□労働安全の確保（農作業事故防止対策、熱中症対策、農業機械の安全教育）

□人材育成・雇用環境改善（従業員研修の実施、若手人材の育成、キャリア支援等）

□多様な人材の活躍推進（女性活躍、高齢者・障害者雇用等）

□地域社会への貢献（農業体験、地域イベント参加等）

□「ビジネスと人権」への配慮（人権マニュアルの活用・基本方針策定等）

□環境負荷低減の取組（みどりチェック、JGAP・GLOBAL G.A.P.等認証、有機農業等）

□いずれも取り組んでいない

５２．（女性従業員を雇用している方は回答）女性従業員の役割分担・現場での連携で工夫していることがあればお書きください。

■　ご連絡先

※クオカードのご応募には、以下の「お名前」「お電話番号」「ご住所」のご記入が必要です。

５３．ご回答者様のお名前をご記入ください。

（　　）

５４．お電話番号をご記入ください。

（　　）

５５．ご送付先ご住所をご記入ください。（郵便番号および住所）

〒　　－

（　　）